不動産業業況等調査（2020年7月）[*1]

● 現在の経営状況[*2]

		前回からの変化
住宅･宅地分譲業	△ **10.7** p	10.5 p ↗
不動産流通業（住宅地）	△ **40.0** p	△ 3.9 p ↘
ビル賃貸業	**2.1** p	△ 8.4 p ↘

● ３ヶ月後経営状況見通し[*3]

		前回からの変化
住宅･宅地分譲業	△ **25.0** p	25.0 p ↗
不動産流通業（住宅地）	△ **31.8** p	33.9 p ↗
ビル賃貸業	△ **32.0** p	18.0 p ↗

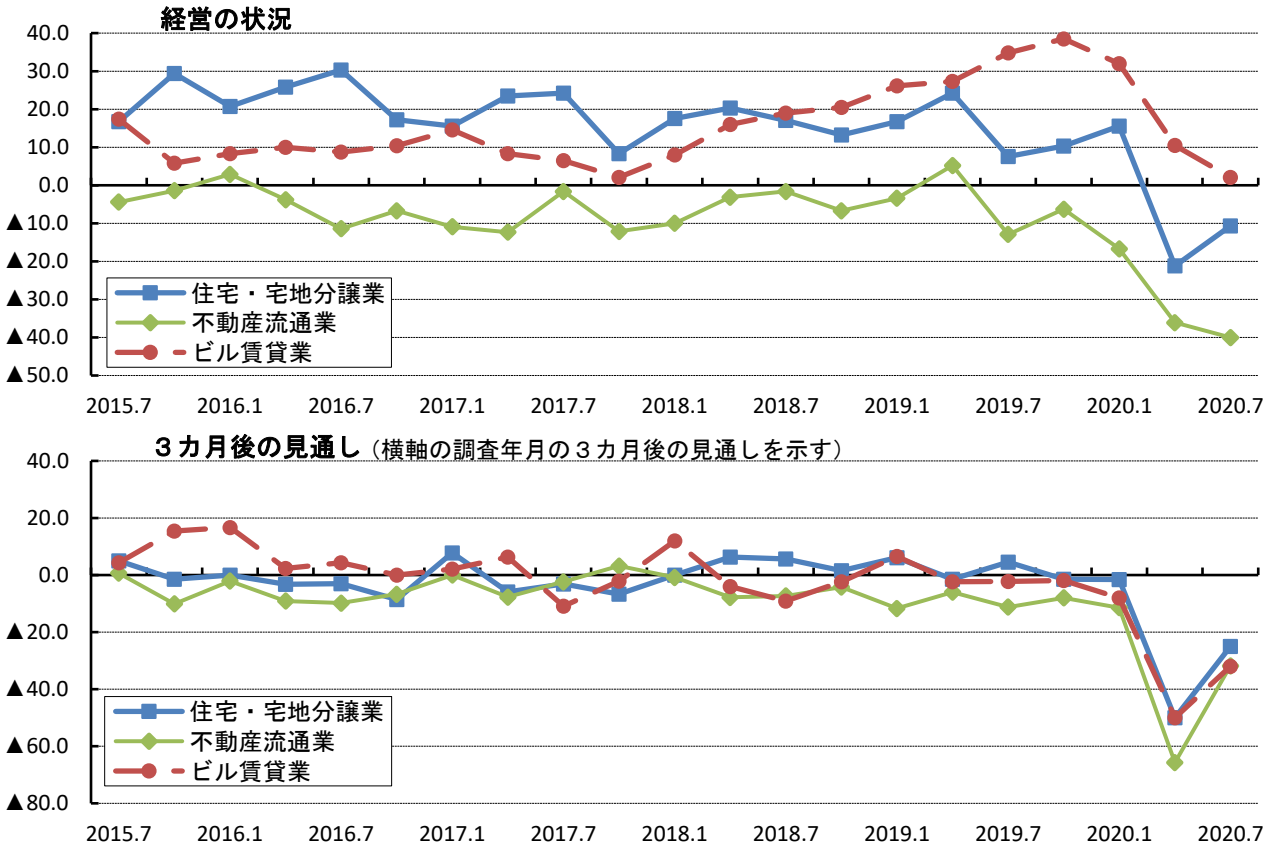
住宅･宅地分譲業の経営状況は前回から 10.5p 改善し▲10.7p。2期連続のマイナス水準。

不動産流通業は前回から 3.9p 悪化し▲40.0p。5期連続のマイナス水準。

ビル賃貸業は前回から 8.4p 悪化し 2.1p。25期連続でのプラス水準。

3ヶ月後の見通しは、住宅･宅地分譲業、不動産流通業およびビル賃貸業でいずれも改善。

*1 不動産業を営む企業を対象としたアンケート調査をもとに、不動産業業況指数を算定 （-100～+100、0が判断の分かれ目）。
調査時期は毎年1、4、7、10月。
*2 経営の状況＝{（「良い」×2「やや良い」）－（「悪い」×2 ＋「やや悪い」）}÷2÷回答数×100
*3 3ヶ月後の見通し＝{（「良くなる」×2＋「やや良くなる」）－（「悪くなる」×2＋「やや悪くなる」）}÷2÷回答数×100
（調査年月の3カ月後の見通しを示す。）



不動産業業況等調査結果（pdf）ダウンロード

資料：一般財団法人 土地総合研究所「不動産業業況等調査」

土地総研メールマガジン 第93号「不動産業業況等調査」